

釣場中 つりばな 採鑛學者、工學博士。漢詩人。安政三年十月十一日伊勢
 國生れ。昭和八年二月二十日没（八六一―九三三）。幼名幸次郎。號南柯、
 戒城。少時御坐南龍の宮漢學を學ぶ。明治九年工學寮に入り、イギリ
 ス人教師ジョン・ミルンの採鑛冶金講義を聽く。十五年工部大學校卒
 業後、小坂鑛山赴任、母校助教を経く、二十二年ドイツ留學。歸朝
 後帝國大學工部大學教授となり、ミルンの後を承けて鑛山學講座を擔
 當。のち福岡縣戸畑市の明治専門學校校長を務めた。夙に漢詩を能く
 し、殊に専門詩人の避けた側體絶句を多作。

漢詩集『南柯集』（昭和十二年二月二十日小田清刊）の世、ヨシ工學博
 士釣場中追懷録』（釣場幸雄編、昭和十二年二月二十日小田清刊）が
 あり、中島利一郎著『南柯集』のあらはれたる釣場博士』（昭和十
 二年一月二十日稿、無刊記）は、「追懷録」寄稿文を著者單行私家版と
 したものの。

